



門川小
HPへ

校長室通信

～ ハートフル門小 ～



「QRコード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

令和6年度 第6号 (令和6年10月15日発行)

R6教育目標：自ら学び 心豊かに たくましく生きる 子どもの育成 ⇒ 「知恵いっぱい・心いっぱい・汗いっぱい」

寄付金により学習環境が充実 ～ 栄ヶ丘幼稚園様より寄付 ～

5月に、栄ヶ丘幼稚園（学校法人門川学園）様より、町内の小・中学校4校に寄付をいただきました。この寄付は「小・中学生の学力向上及びスポーツ振興に役立ててもらいたい」という、前園長の奈須ハマ子様と（故）奈須通丸様からのご厚意によるもので、本校では右のような機器等を購入させていただきました。学校を代表しまして、深くお礼申し上げます。



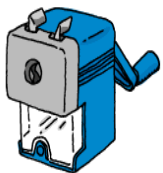
大型アンプ+スピーカーシステム	運動会等の行事で使用予定
鉛筆削り器（16台）	各学級用として使用中
トランシーバー（2台）	行事や緊急時対応等で使用予定

家で鉛筆を研いでいますか… ～ 当たり前のことが当たり前 ～

1学期の話になりますが、子ども達の授業の様子を見て回っていると、1時間目から机の上に鉛筆削り器（携帯用）が出ている子ども達をたくさん見かけていました。時代の流れか…とも思いましたが、1学期を振り返る職員会議の中で、「たくさん子ども達の机の上に、朝から鉛筆削りが置いてあるのに気付いていますか？」と職員に投げかけてみたところ、皆気にはなっていたという反応が返ってきました。「朝から鉛筆削りが机の上にある」⇒「家で鉛筆を研いできた？」という疑問にたどり着くのは自然な流れです。3～4時間目ぐらいになると、研いできた鉛筆が全部つぶれてしまうことはあり得るかもしれませんが、朝から鉛筆削り…？



授業に集中できない子、学習への意欲が感じられない子、教科書やノートがそろわない子…、そんな子ども達は共通して、筆箱の中が整っていないことが多いようです。今でも、鉛筆が1～2本しかない子、筆箱を持たずに散らかった引き出しの中から鉛筆を探す子、筆箱を置いて帰る子…、いろいろな子ども達を見かけますが、「学習用具を整える」ことは、『学力向上』の1丁目1番地だと私は思います。



自動化・効率化の時代ではありますが、「準備する」「整える」「構える」等の日々の習慣付けは、子ども達のこれから先の人生できっと役立つはずで

そこで、2学期スタートから、個人の鉛筆削り器は使用しないようにし、各学級に1台ずつ鉛筆削り器（上記寄付金の一部で購入）を置くようにしました。研いできた鉛筆が全部つぶれた時には、担任に許可を取ってから鉛筆を研ぐようにし、「鉛筆は家でちゃんと研いでくる」という当たり前の習慣を、401名全員が身に付けてほしいと思っています。

「みんなの学校」で本校が紹介されました ～ 宮崎日日新聞（10月8日）～

1枚の紙面全体を使った学校紹介のコーナーに、本校が掲載されました。前回は平成24年1月でしたので、実に12年ぶりの掲載となります。今回も、記事は全て6年生が分担して書き上げてくれました。4つのコーナーには、それぞれ下のような見出しを付け、門川小のよさ（6年生がリーダーシップを発揮し、地域とのつながりを大切にしている学校である…など）をしっかりとアピールしてくれました。



【わくわく授業】…「経験聞き将来考える」	【こんな学校です】…「正門であいさつ運動」
【ココに注目！】…「高校生らが授業支援」	【頑張ってます】…「学校引っ張る6年生」

地域の方々をはじめ、約30年前に門川小で一緒に勤務した先生方からも「見たよ！」というたくさんの連絡をいただきました。広告協賛をいただいた28の企業や事業所等の皆様、そして協賛者探しに奔走してくださったPTA役員の皆様、ご協力ありがとうございました。

地域の皆様もぜひご覧ください ～ 第123回運動会（10月20日）～

この通信は、各地区回覧板にも挟んでいただいているため、現在小学生のお子さんがないご家庭にも回ってきているものと思います。そこで、地域の皆様にご案内です。20日（日）は、本校の運動会です。昨年度に続いて、今年度も入場制限等はありませんので、遠慮なくご覧ください。地域の皆様の出番はありませんが、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を目指す本校にとって、学校の運動会は地域を盛り上げる行事の一つだと思っています。子ども達が頑張る姿に声援を送ったり、子ども達から元気や活力等を分けてもらったりしていただければ幸いです。

※ 現時点でのプログラムを裏面に掲載しています。【保護者の皆様には17日(木)に正式なプログラムを配付します。】→→